

学校だより

～北斗ブルー～



北海道北斗高等支援学校

第4号

令和7年3月24日発行

文責 澤田 崇史

今年度の教育活動を振り返って

校長 澤田 崇史

今年、暖冬といわれていましたが、時に寒波が何度も襲来し、異様なくらい降雪量が増えるなど、気温の乱高下を経験した冬となりました。このような中で、先日、ようやく訪れた雪解けと暖かい日差しのもと、第6回卒業証書授与式を行い、卒業生16名全員を無事送り出すことができました。卒業生の皆さんには、これからの社会でのご活躍を期待し、長くご健康で過ごされることをお祈り申し上げます。

さて、本年度は、数年ぶりに制限のない1年を過ごすことができました。現在の1,2年生は、小学校高学年から中学校にかけて、活動に様々な制限を設けながら過ごしてきた学年と認識しています。そのことが原因かは不明ですが、コミュニケーションや対応など友人との関係に悩む生徒が多く見られました。

本校では、道南地域で活躍する人材の育成を目指し学習活動をおこなっており、教科指導や実習等を通して、社会の中での適切な人との関わり方などを学んでいます。私たち大人にとっても、このコロナ禍前後での社会の大きな変化に直面しています。ぜひ、ご家庭でも新しい社会の在り方とともに、これまでの望ましい対応などを生徒に伝えていただきたいと思います。

ここで、学習活動を振り返りますと、7月に行いました清溪祭では、保護者の皆様だけでなく、地域住民の多くの方に来校いただき、久しぶりにお祭りの雰囲気の中実施することができました。また、PTA役員の皆様におかれましては、上磯高校同窓会・PTAの書店にご協力いただきました。今年の夏は、令和5年度ほどではないものの、気温上昇を感じられる夏となりました。このような中、今年度から簡易エアコンを普通教室に設置し、快適とはいえないまでも、暑さをしのぐ環境になったことは、少しの安心を持つことができました。

加えて、各学年の職場実習については、ご家庭の皆様のご協力により、円滑に終了することができました。生徒にとっては、大きな学びとなる期間でもありますが、うまくいかないこともあり、心身ともに負担の大きな体験であると思っています。この体験を糧に、一回りも二回りも成長してほしいと教職員一同願っているところです。

また、今年度の課外活動について、ビルクリーニング検定3級取得者や社会福祉・介護福祉検定、日本漢字能力検定、文書処理能力検定などに進んで取り組み、合格を勝ち取る生徒が増えてきました。そのほかにも、ティールボール部・バスケットボール部の全道大会準優勝、バトミントン部における道南地区高等支援学校スポーツ大会でのバトミントンの部優勝、ふるさと写真コンクール銀賞、はこだて・冬・アート展優秀賞など多くの大会に参加し、入賞するなど、生徒の活躍が顕著に見られるようになりました。

最後になりますが、本年度も保護者や地域の皆様のご支えにより、無事に年度末を迎えることができました。改めて感謝申し上げます。新年度も今年同様、活発な学習活動が展開できるよう、今年度以上の取り組みを、職員一丸となって進めて参りますので、変わらぬご理解とご支援のほど、よろしくお願ひします。

WTW(ワークトレーニングウィーク)2期

WTWとは、5日間通して1～6時間目まで働き、長時間の仕事に対応できる体力や集中力などを育成する実習です。

環境・流通サポート科1年生

格技場や教室、廊下の清掃や床ワックスの長期維持のため、パフ掛けを行いました。



福祉サービス科1年生

校内カフェのオープンに向けての準備を行い、最終日にお客様をお迎えしてカフェ運営を行いました。



第6回 卒業式

3月8日(土)、第6回卒業式を挙行し、6期生 16名がそれぞれの決意を胸に巣立ちました。3年前の入学当初とは違い、自信と希望に満ちた表情で登壇し、卒業証書授与、スピーチ、式歌斉唱など感動的で思い出に残る式となりました。

6期生の皆さん、ここから新たな人生の「スタート」です。それぞれの場所で「自分らしく」頑張ってください。



離任者挨拶

この紙面をお借りいたしましてお礼とお別れの挨拶とさせていただきます。

校長 澤田 崇史 (北海道札幌稲穂高等支援学校へ)

二年間という短い期間でしたが、久しぶりに就労を目指す生徒とともに活気のある学校の中で、自分自身も大変勉強させていただきました。渡島地域の生徒の優しさ、真面目さ、そして何より明るさに魅了され、このような素敵な生徒たちが、将来社会の中で活躍されることを祈念します。保護者の皆様、地域の皆様、大変お世話になりました。

事務長 澤田 憲一 (北海道平取養護学校へ)

毎日、生徒から元気もらい、生徒の成長する姿に感動を感じる5年間でした。私にとっては貴重な時間となりました。次の地でも同じ時間を刻めるよう頑張りたいと思います。保護者の方々、並びに地域の方々には大変お世話になり、ありがとうございました。今後とも、北斗高等支援学校の応援をよろしくお願いいたします。

教諭 佐々木 真由美 (北海道函館養護学校へ)

開校時に赴任し8年間、たくさんの方々を支えられながら貴重な経験、たくさんの学びをさせていただきました。地域に根ざし地域に愛されるこの学校で勤務できたことは私の宝です。8年間本当にありがとうございました。

教諭 前田 未希 (北斗市立久根別小学校へ)

北斗高等支援学校に赴任して6年間が過ぎました。挨拶が素晴らしく、何事にも一生懸命努力する皆さん。皆さんのそんな姿を見て、自分も頑張ろうとエネルギーをもらっていました。ありがとう。人は一人では生きられません。周りの人への「感謝の心」を忘れず、自分の夢に向かって頑張ってください。すぐ近くの学校へ行くので、顔を合わせる機会があると思います。その時には声をかけてください。保護者及び地域の皆様、6年間ありがとうございました。

教諭 戸倉 広晶 (北海道中札内高等養護学校へ)

開校の年に赴任し、新しい学校のスタートに関わることができたのは、自分の人生にとって貴重な経験でした。北斗高等支援学校に関わった人が幸せであって欲しいと願っています。8年間、本当にありがとうございました。

養護教諭 吉川 瑞恵 (北海道小樽高等支援学校へ)

開校から8年間この学校で働けたこと、とても幸せに思います。いつまでも「みんなに応援される学校」であって欲しいと願っています。関わっていただいたすべての皆さま、本当にありがとうございました。

教諭 北澤 愛美 (退職・青森県立学校に新採用)

地域のみなさまに支えられながら、この学校で生徒とともにたくさんの貴重な経験をすることができました。青森県でも北斗の経験を存分に活かしたいと思います。少し遠くはなりますが、海の向こうから、北斗高等支援学校のことを応援しています。8年間、本当にありがとうございました。

指導実習助手 薩来 志穂 (退職)

5年間でしたが、生徒と一緒に北斗市内の色々な場所で実習をさせていただき、たくさんの良い思い出になっています。保護者の皆様、地域の方々にご協力いただき、ありがとうございました。

事務主任 水林 一貴 (北海道函館聾学校へ)

あっという間の4年間でした。「北斗スタンダード」最初は何だろう?と思いましたが、生徒の元気な挨拶など今まで勤務した学校ではあまり経験がなかったので感心しました。将来の目標に向けて色々なことを身につけてください。保護者並びにご協力いただきました皆様ありがとうございました。

<お知らせ>

次回は4月の発行となります。北海道北斗高等支援学校の学習の様子、学校生活の様子などをお伝えします。どうぞよろしくお願いたします。

※ホームページもどうぞ御覧ください。

<http://www.hokuto-koushi.hokkaido-c.ed.jp>



北海道北斗高等支援学校に関することや特別支援教育に関するお問い合わせは、下記連絡先までお気軽に御連絡ください。

<住所・連絡先>

北海道北斗高等支援学校 (上磯高等学校 併設)

北斗市中野通3丁目6番1号

TEL:0138-74-3431

FAX:0138-74-3435

